

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度(平成31年度)	科目名	インプロヴィゼーション2
科目基礎情報				
開設学科	ミュージックアーティスト科	コース名	プレイヤーコース	開設期 後期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数 30時間
単位数	1単位	授業形態	実習	
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。			
担当教員情報				
担当教員	西川 進	実務経験の有無・職種	有・ミュージシャン	
学習目的				
楽器演奏を職業とする、いわゆる「プロミュージシャン」になるためには、ただ与えられたお手本をコピーして演奏するだけではなく、自ら考えたコードフォーム、フレーズなどを瞬間的に発揮した即興演奏、いわゆるインプロヴィゼーションを必要とする。動揺すること無く、即座に感情表現を伴ったインプロヴィゼーションが出来るような技術、精神力を鍛えること。更に「サポートミュージシャン」として必要な知識、技術も合わせて指導し、実践で必ず役に立つスキルを取得してもらう事を目的とする。				
到達目標				
いかなる音楽ジャンル、リズム形態、テンポ、拍子、コード進行であっても、即座に対応できるインプロヴィゼーション力を身につけること。ポップスフィールドの中でコードネームに対して音楽をより良くする適切なバックングが出来るということを前提としている。自分本位の演奏だけではなく、いかに周りの音を聴きながら演奏するか、そして良い演奏ができる雰囲気を作るためのコミュニケーション能力も身につけること。総合的、実践的に、「プロミュージシャン」のスキルを身につける事を目標とする。				
教育方法等				
授業概要	インプロヴィゼーション力を身につけるために、各回のテーマに沿った課題曲を時間をかけ何度も演奏をしてもらう。演奏者主体の授業になりがちだが、演奏者以外の生徒から必ず客観的な感想を募る。必要に応じてレコーディングも実行し、今後の課題を見つけてもらう。回によっては複数の講師による指導も交え、プロのインプロヴィゼーション力を学習してもらう。ヴォーカリストコースから適時ゲストで歌唱に参加してもらい歌を聞きながら演奏するという実習形態で行っていく。			
注意点	キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める(詳しくは、最初の授業で説明)。普段から、音楽を流し聴きにとどめず、仕事の結果としての作品として鑑賞、分析、研究する習慣をつけておくこと。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。			
評価方法	種別	割合	備 考	
	試験	20%	試験と課題を総合的に評価する	
	実技	30%	毎回の授業時間内でのインプロヴィゼーション力を評価する	
	提出物			
	成果発表 (口頭・実技)	30%	授業時間内に行われる発表を客観的に見て評価する	
	平常点	20%	出席、積極的な授業参加度、授業態度によって評価する	
授業計画(1回~15回)				
回	授業内容	各回の到達目標		
1回	ツーコードでのインプロ(1) その2	key E~A ツーコードにおけるフレージングが演奏できる (メジャーマイナー両パターン)		
2回	ツーコードでのインプロ(2)	key A~D ツーコードにおけるフレージングが演奏できる (メジャーマイナー両パターン)		
3回	ツーコードでのインプロ(2) その2	key A~D ツーコードにおけるフレージングが演奏できる (メジャーマイナー両パターン)		
4回	ツーコードでのインプロ(3)	key C~G ツーコードにおけるフレージングが演奏できる (メジャーマイナー両パターン)		
5回	ツーコードでのインプロ(3) その2	key C~G ツーコードにおけるフレージングが演奏できる (メジャーマイナー両パターン)		
6回	ツーコードでのインプロ(4)	key F#~B ツーコードにおけるフレージングが演奏できる (メジャーマイナー両パターン)		
7回	ツーコードでのインプロ(4) その2	key F#~B ツーコードにおけるフレージングが演奏できる (メジャーマイナー両パターン)		
8回	ツーコードでのインプロ(5)	key Bb~Eb ツーコードにおけるフレージングが演奏できる (メジャーマイナー両パターン)		
9回	ツーコードでのインプロ(5) その2	key Bb~Eb ツーコードにおけるフレージングが演奏できる (メジャーマイナー両パターン)		
10回	スリーコードでのインプロ	C~F~G~C コード進行におけるフレージングが演奏できる		
11回	基本的なコード進行でのインプロ(1)	C G Am Em F C F G コード進行におけるフレージングが演奏できる		
12回	基本的なコード進行でのインプロ(1) その2	C G Am Em F C F G コード進行におけるフレージングが演奏できる		
13回	基本的なコード進行でのインプロ(2)	Fm7 G7 Em7 Am コード進行におけるフレージングが演奏できる		
14回	基本的なコード進行でのインプロ(2) その2	Fm7 G7 Em7 Am コード進行におけるフレージングが演奏できる		
15回	基本的なコード進行でのインプロ(3)	Am F G C コード進行におけるフレージングが演奏できる		